



戦後80年 平和の中で学べること

今年、戦後80年という大きな節目を迎えました。

私たちが当たり前のように教室に集まり、学び、語り合える日々は、実は多くの犠牲と努力のうえに成り立っている「夢のような日常」なのかもしれません。かつて日本は戦争により焼け野原となり、人々は飢え、苦しみ、未来を思い描くことすら難しい時代がありました。学びたくても学べない、そんな現実が日本中にありました。



作家であり政治家でもあった石原慎太郎さんは、生前こう語っています。

「今の若者には、まず『この国が一度滅んだ』ということ、きちんと知っていてほしい。」

私たちは、生まれたときから平和な時代を生きてきました。しかし、かつてこの国は壊滅的な敗北を経験し、そこから多くの人々の知恵と努力によって復興してきました。その背景を知ることは、今の自分たちの姿を見つめ直すきっかけにもなると思います。

今なお世界では、戦争や貧困によって教育を受けることすらできない地域が存在します。ウクライナやパレスチナをはじめとした紛争地の子どもたちは、命を守ることだけで精一杯な日々を生きています。その現実を目の前にしたとき、私たちがこうして安心して学べる「今」の尊さが、心に響いてくるのではないのでしょうか。



祖先たちが命をつないでくれたからこそ、今の私たちがここにおいて、未来のために学ぶことができます。だからこそ、学べる「今」に感謝し、平和を受け継ぎ、守っていく責任が、私たち一人ひとりにあるのです。そのために学んでいるともいえます。

「戦後80年」を迎えた今、自分の未来、そして誰かの未来のために、このかけがえのない時間を大切にしていきたいと思います。

本気の覚悟、できていますか？

先日の数学の計算テスト。2次方程式の基本問題という内容でしたが、夏休み明けに実施することは前もって伝えていたにもかかわらず、「準備不足」が目立つ結果でした。



もちろん、しっかりと夏に学習を積み重ねた人は成果を出せました。一方で、「まあこのくらいでいいか」「まだ本番じゃないし」といった気のゆるみが、そのまま結果に表れた人も少なくありません。

今、中学3年生の2学期。これから進路に直結する実力テストや面談、そして志望校の決定へと、思った以上に早いスピードで時が過ぎていきます。そんな中で「できていない」「やっていない」という状態をそのままにするのは、とても危険なことです。



大切なのは、ここで自分の甘さに気づけるか。そして、悔しさを言い訳で終わらせず、行動に変えられるか。間違いや失敗は、放っておけばただの“できなかったこと”にしかありません。でも、学び直す覚悟をもったとき、それは「伸びしろ」へと変わります。

「やり切る覚悟」がある人は、すでに動き出しています。

夏休みをどう過ごしたかよりも、今ここからどう立て直すか。その一手が、未来を変える鍵になります。本気でやる気はあるのか？覚悟はあるのか？一人ひとりが自分に問い直すタイミングです。

3年生の日々 ～始業式・学年集会～



■今週の予定（9／8（月）～9／12（金））

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
9/8 （月）	A	総合	理科 2	国語	数学	国語	英語	生徒会朝礼 [安] ヤギカフェ 放）合唱コン実行委員
	B	総合	理科 1	数学	国語	英語	社会 1	
	C	総合	国語	社会 2	数学	美術	英語	
9/9 （火）	A	体育	理科 1	社会 1	英語	数学	総合	
	B	社会 1	体育	国語	理科 1	英語	総合	
	C	理科 1	社会 2	体育	英語	数学	総合	
9/10 （水）	A	理科 1	英語	家庭	社会 1	体育		
	B	英語	理科 1	技術	体育	音楽		
	C	国語	英語	理科 1	家庭	体育		
9/11 （木）	A	道徳	音楽	美術	英語	国語	体育	
	B	道徳	国語	社会 2	美術	体育	理科 2	
	C	道徳	美術	音楽	英語	美術	体育	
9/12 （金）	A	国語	数学	英語	社会	理科	学活	復習確認テスト（3） ※コンパス・定規 ⑥まちなか先生講演会
	B							
	C							

※「社会 1」は I 先生、「社会 2」は M 先生です。

※「理科 1」は K 先生、「理科 2」は M 先生です。

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。